

本を読むのは、ぼく。本を読むのは、わたし。だから、読む本を決めるのも「じぶん」でできるようになりたいね。読んでおもしろかった本を、お友だちやおうちのひとに紹介して、本の輪をひろげていきたいね。



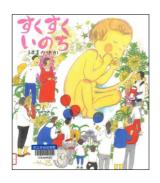
アパートのひとたち

ツァルファティ/作 青山南/訳 光村教育図書

アパートにすむ 女 の子。おうちのある7かいまで、かいだんをのぼりながら、ドアのむこうをそうぞうします。ここにすんでいるのは、どんなかぞく? どろぼう? サーカス? それとも、きゅうけつき?

Eツア

すざかとしょかん



すくすくいのち

はまのゆか/作 めくるむ

ぼく・わたしは、うまれてくるまで、ママのおなかのなかで、どんなふうにすごしていたの?ママのからだは、どんなふうにかわったの?かぞくで、いのちをかんがえるきっかけになる絵本。

Eハマ



もぐらどろぼう

桂文我/文 ささめやゆき/絵 BL出版

あなをほって、かぎをはずし、ぬすみをはたらく、 もぐらどろぼう。おみせのしゅじんにみつかって、あ なにいれた手を、しばられてしまいました。さあ、どう する? 落語をもとにした絵本。

Εササ



トムと3時の小人

たかどのほうこ/作 平澤朋子/絵 ポプラ社

つとむが苦道具屋でみつけた、赤いひょうしの本。どうしても読みたくなって、としょかんでさがしてみると、それは、トムという少年と「3時の小人」のものがたりでした。はじめてのひとり読みに。

913 ጳ



南の日の地下トンネル

鎌田歩/作 アリス館

^{あめ} 雨の日がつづいています。どうろにたまった雨は、 どこにいくの? 川の水もどんどんふえて、あふれ そう。雨からまちをまもるしくみや、地面の下の巨大 トンネルを、迫力ある絵でえがきます。

Εカマ



おちばのほん

いわさゆうこ/著 文一総合出版

落ちた葉が、風や雨にさらされて、ミミズやダンゴムシに食べられて、土になるまでを、美しいイラストで紹介する科学絵本。近所の公園から野山まで、120 しゅるいの落ち葉が登場。

科学のえほん Eイワ

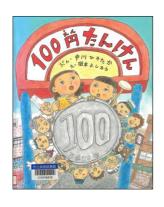
かえるのごほうび

Bases 1230

木島始/作 梶山俊夫/絵 福音館書店

うさぎとかえるがすもうをとったり、うさぎがさるをおいかけたり、いきいきした動物たちの世界をえがいた平安時代の絵巻「鳥獣戯画」を、子どもたちといっしょに楽しめる絵本。

Eカエ



100 円たんけん

中川ひろたか/文 岡本よしろう/絵 くもん出版

100円ショップはべんりだけど、まちでは、100 対でなにが覚えるのかな? 子どもにとってみぢかなねだん「100円」で覚えるものをくらべてみよう。 おこづかいのつかいかたが、ちょっとかわるか<u>も。</u>

|337 ナ



こよみともだち

わたりむつこ/作 ましませつこ/絵 福音館書店

1月さんから12月さんまで、みんなひとりぐらし。 となりの家にあそびにいって、なかよくなって、さい ごは「こよみのいえ」で12にんですむことになりま す。「こよみのいえ」をあけてみると……。

E マシ



スリー 3ぼんあしのしあわせなイヌのおはなし

キング/文・絵 神野三鈴/訳 イマジネイション・プラス

あしが3ぼんしかないイヌ。 名まえは、スリー。 ハンディキャップはあるけど、元気にくらしています。 いろいろな友だちにであったけど、さいごにであった女 の子にいわれたのは……?

E キン